

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和7年度第2回東小金井駅北口まちづくり協議会		
事務局 (担当課)	小金井市都市整備部区画整理課		
開催日時	令和7年12月16日(火) 18時30分～20時10分		
開催場所	小金井市区画整理課事務所2階会議室		
出席者	委員	大沢昌玄・杉山薫・井上征志・金井清治・小島義一・酒井淳・土橋光里・藤嶋建志・尾路清	
	都市づくり公社	宮川雄一・市井豪人	
	事務局	大久保隆・原嶋薫・竹中正人・郡司和昌・井垣研吾	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	3名
傍聴不可・一部不可の場合、その理由	—		
会議次第	1 議題 (仮) 駅前公園・都市計画道路の樹種や設置位置等の検討及び決定について 2 その他 次回の日程について 3 閉会		
会議結果	○ 都市計画道路の樹種はシラカシで、そこから生まれる様々な展開(例:緑陰、ゼロエミッション等)をコンセプトに入れることとし、その具体的なコンセプトを第3回協議会で議論する。 ○ (仮)駅前公園へのトイレ設置は、作った場合の専有面積や作らない場合の代替手段等を明示したうえで判断する。 ○ (仮)駅前公園名は公募したうえで協議会にて決定する。 ○ (仮)駅前公園の樹種は交通広場と一体感を持たせて小金井のサクラを感じさせる固有種を入れ、公園をフレキシブルに応用できるように配置する。		
提出資料	1 次第 2 (仮)駅前公園・都市計画道路の樹種や設置位置等の検討及び決定 3 令和7年度第1回東小金井駅北口まちづくり協議会会議録		

審議経過

事務局 定刻になりましたので始めます。本日はご多忙のところ、まちづくり協議会にご出席いただきましてありがとうございます。

会議に先立ちまして、各委員の方と傍聴の方にお願いがございます。会議録用の録音及び記録用の写真撮影を行いますので、ご理解のほどお願いいたします。

<配付資料の確認>

こちらの第1回議事録についてですが、先日委員の皆様以案を送付しまして、内容をご確認いただきました。結果、修正は言葉遣いの軽微なもののみでしたので、この内容をもって、委員名は伏せまして、正式に議事録として残していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

それでは、本日協議会に先立ちまして、区画整理課長からご挨拶をさせていただきます。

<区画整理課長 挨拶>

事務局 それでは会長、進行の方、よろしくお願いたします。

会長 ただ今から、令和7年度第2回東小金井駅北口まちづくり協議会を開催いたします。

本日、押田委員、安部委員、加藤委員、上條委員、土屋委員から欠席のご連絡をいただいておりますのでよろしくお願いたします。

本日の議題ですが、前回の協議会の内容を踏まえまして、事務局より資料が提出されております。はじめに、事務局から資料の説明を求めます。

<事務局説明>

会長 ただいま事務局より前回の皆様からのご意見を踏まえて、ご提案、ご報告をいただきました。皆さんのお手元にあるパワーポイントとそれからVRを用いて、駅前公園の施設整備と植樹の提案でございます。公園の施設整備内容として、電源、水道、散水栓、ミスト、みんなで管理する花壇等を置き、あわせて柵、テーブルを置いて、玄関口としてのサクラを植樹するというお話がありました。

一方でトイレや噴水につきましては設置が難しいということ。公園名の決め方については、公募か協議会で決定ということですが、協議会で決定しても良いのではないかとこのお話がありました。

梶野通りの樹種につきましては、公共施設整備計画にあるケヤキ、ヤマザクラ、シラカシの樹種の中から、小金井市の健康寿命や植樹後の街路樹の課題等を踏まえてシラカシがよろしいのではないかとあわせてベンチの形などのご提案をいただきました。

今日は整備の方向性ということを取りまとめていきたいと思っておりますが、まず全体を通して、この内容につきまして、ご質問、ご意見があれば、ここで意見交換できればと思っております。

当然、事務局の一案ですので、異論もいただいて構わないと思っております。様々のご意見をいただいた後、大体、意見案が収束した段階で、駅前公園の整備内容、梶野通りの樹種をどうするかということをもとめていきたいと思っております。

ご質問ご意見があれば受けたいと思っております。

A委員 商工会としては公園内でイベントを行いたいため、公園の中にキッチン

カー等が入れるのか状況を確認したいです。

区画整理課長 イベント等ができるような公園と考えていますので、キッチンカーが入れる、にぎわいの創出を図れるような公園にしていきたいと考えています。

B委員 近隣の保育園へ意向調査をされて、いろんな希望が出ているようですが、それを反映するような施設等が見当たらないように感じます。その辺はどう考えているのでしょうか。

区画整理課長 一番のご要望は、道路に飛び出さずに安心して遊べる公園であって欲しいというように聞いておりますので、まず、景観に配慮した柵を設けるといこと。この駅前公園につきましては、小さいため、梶野公園とのすみ分けで、小さいお子さんが遊具等なしで遊べる公園というように考えております。そして、もう少し大きいお子さんが遊ぶ公園としては梶野公園になるのかなと思っております。

C委員 ここでイベント等を大いにやるということですがトイレがありません。イベントにきた方々がトイレに行きたくなくてもトイレがありません。ということは駅の改札の中に入るか、あるいは梶野公園まで急いでいかないといけません。そうすると信号等もあるため、様々な面で不便だと思います。その点でトイレは絶対に必要だと思います。イベント等をやらない公園であれば、トイレがないことも考えられますが、その辺はどうなのでしょう。

区画整理課長 トイレは梶野公園と、少し遠いですが、JRの西側改札外にあります。

C委員 梶野公園にもJRの西側にもトイレがあることをわかった上で質問しています。

区画整理課長 トイレについてはあったほうが良いとは思っております。しかし、この公園は小さく、トイレの存在感が大きくなること、住宅が近く臭いや夜に人が集まるといった防犯面等、様々な面から考え、現段階で設置は難しいと考えているところでございます。

C委員 トイレに人が集まりますか。

区画整理課長 夜に明るい建造物はトラブルも考えられますので、一旦、設置をしない方向で考え、イベント等を行うのであればその様子を見て、必要であれば再度検討するという事もあると思います。

C委員 必要だと思います。小金井公園やいろんな方から歩いてきて、トイレに行きたいと思ったときに、この公園に来ればあるなとか、あそこにもあるなというような利便性を考えるとトイレは必要だと思います。

区画整理課長 市としては、住宅も近いので、苦情等を鑑みて、設置しない方が良いでしょうという一案をお示ししましたが、委員の皆様が必要だということであれば、それはまた検討するという事になります。

C委員 トイレがあることで犯罪が起きたり、臭いが出たり、ということでトイレをなくすということはあると思いますが、トイレが必要という面から考えるということはないのでしょうか。

会長 これはあくまでも市の提案ですので、この協議会で必要となれば、おそらく必要ということになると思います。

C委員 そうではなく、もし犯罪があったときには責任が取れないからトイレを設置したくない、というふう聞こえるのです。犯罪が起きるから、臭い

がするからやめておこう、となると必要な人にとって非常に不便になります。犯罪面、臭いの面だけではなく、トイレが必要という面も含めた3点から考えて欲しいと思います。駄目な方向からだけ考えて、ない方がいいという考え方はよくないと思います。

会長 ご意見としていただければと思います。そういったご意見をいただく会でするのでお願いいたします。

B委員 今、トイレの話題が出たのでトイレの話をしてします。境南ふれあい広場は月に何回もイベントをやっている人がかなり集まるので、当然トイレはありますが、イベントがあるときに仮設トイレを置くという考え方もあると思います。今はトイレもレンタルできるので、必要なときにだけ置くという臨時的トイレという考え方もあると思います。

ある程度しっかりしたトイレを作るとなると、この公園の面積から考えて、景観上もトイレがかなり主張してくるような気がします。そのため、公園の主たる目的という観点から、トイレの位置付けを考えていくべきだと思います。

それと、保育園からのリクエストについてです。ボール投げは無理でも、子供たちがあそこで遊びたい、自由に遊んでみたいという希望は叶えてあげたほうがよいと思います。子供たちがこの公園に来て、そこでちょっと遊んでにぎやかになる空間、となれば、非常に価値が出てくると思います。

やはり前回話題になりましたとおり、フレキシブルに、多目的にしておけば、そういうこともできるし、イベントもできるし、いろいろできるのかなと思います。

C委員 公園の緑色の部分のところですか。前回、芝生も検討しましたが、芝生は踏まれていくと、境南ふれあい広場のように芝生が無くなってしまうので、私は植物に詳しくありませんが、強い雑草を植えて常に綺麗に草刈りしていたら緑が保てるのではないかと思うのですが、どうなのでしょう。

B委員 専門家として申し上げますが雑草は無理だと思います。例えばサッカースタジアムの芝はあれだけ踏みつけられてもとても綺麗になっていますが、ああいうところは管理が行き届いているだけでなく、下のベースの作り方が全然違って、下地が踏まれても大丈夫なように砂になっているのです。こういう公共空間でそういう施工をやらせてくれるかどうかというのは微妙ですので、芝生の中でも強い品種の芝にします。そして、使っていく中でどうしても雑草が入ってしまいますが、高頻度で芝刈りを行っていくと、芝に雑草が混じっていても同じ緑なので遠目には綺麗に見えます。

例えば小金井公園のいこいの広場も遠目には芝に見えますよね。実際は近くで見ると芝があったり雑草があったりしますが、遠くから見ると綺麗な緑になっています。10数年ぐらい前までは、芝刈りの頻度が低かったため、膝ぐらいまで伸びてしまうこともありましたが、最近は芝刈り、草刈りの頻度が非常に上がってきたため、かなり綺麗な緑に見えるようになりました。

したがって、大切なことは草刈りの頻度です。頻度を高くすれば緑はキープできますので、最初から雑草というのは雑草だらけになってしまうためやめたほうがよいと思います。強い種類の芝を植えて、自然にその

中に雑草が入ってきてしまうことはよしとして、一体の緑という形でキープしていくことはできなくはありません。ゴルフ場みたいには絶対にできませんが、見た目は緑のカーペットのような感じにはできなくはないと思います。

会長 市の資料に都市公園、児童遊園、子供広場等が書いてありますが、これは何の区分なのでしょう。

事務局 市環境政策課に確認しましたところ、都市公園は大きい公園、それ以外が児童遊園と子供広場という形になるとのことですが、基本的に児童遊園と子供広場は言葉の違いだけで、大きな違いはないようです。

会長 都市公園法の区分では、住区基幹公園と都市基幹公園があつて、住区基幹公園には街区公園と近隣公園、地区公園があります。

街区公園は標準設置面積が 2,500 m²で誘致距離が 250m、近隣公園は標準設置面積が 2 ヘクタールで誘致距離が 500m、地区公園は標準設置面積が 4 ヘクタール規模で、半径 1km ぐらいの方を誘致するという区分になっていますが、それとの関係性が知りたいと思います。

今回のこの駅前公園は約 1,400 m²と街区公園の半分程度のため、ここにいろんな施設を入れるというのはかなり厳しいです。さきほどトイレのご意見等もありましたが、ここに入れてしまうと、自由な空間がかなり狭まってしまうということもあります。

前回お話しして難しいとのことでしたが、本当は、トイレは交番の後ろの空いている土地がいいのではないかと思います。

1,400 m²というのは相当狭いということを通認識として持った方がいいと思います。2,500 m²の街区公園とは、以前、児童公園と言われ、砂場やジャングルジムがあったような公園のことですが、それと比べても 1,400 m²というのは相当狭いです。そこにいろんなものを入れすぎてしまうと、逆にうるさくなってしまうこともあります。

事務局もこの公園の種別というものを環境緑地部門に確認していただくとよいと思います。

事務局 再度確認して、次回報告します。

会長 他の全体の質問や、ケヤキ、ヤマザクラ、シラカシの話等もありましたらお願いします。

D委員 根上がりをお心配していました。この近隣ですと、三小の東側の歩道のイチョウやサクラが結構、根上がりしています。一度そうになってしまうと修復が難しいと思いますので、その意味では、今回根上がりに配慮してもらっていて良いかと思います。

会長 ご指摘いただきました根上がりは、今、いろんな自治体で問題になっている案件かと思っています。

E委員 今回大体のことを決める会だと思いますので、順番に一通り皆さんの意見を聞かれたらよろしいかと思います。

駅前公園では、市としてのシンボル、市民が愛着を持つ公園というコンセプトが最初の話し合いの中でありましたので、小金井公園の入口という観点からサクラというお話でした。交通広場にコガネイウスベニザクラがあり、その向こうに駅前公園があるので、そこにはやはり大樹があったほうが見栄えもよく、シンボルになるのではないかと思います。大樹のサク

ラというとシダレザクラがよいと思います。全国でも名物はシダレザクラが多いですね。同じサクラならヤマザクラの小さいものよりも見栄えのいい立派なシダレザクラがあるとうれしいと思いました。

それからサクラの後ろに見栄えのいいものとしたら、白いモクレンやシデコブシのような白い木があると、さらにサクラが映えるような気がします。小金井街道にある木はシデコブシですか。

B委員 あれはワダズメモリです。

E委員 駅から見通したときに、コガネイウスベニザクラの向こうに大きなサクラがある、或いは、大きな白い花があるのがいいのかなという感じがしました。

シンボリックなことと同時に、公園にはベンチを置くので、あわせて日陰になる木も植えると、お花と緑の木というコントラストもあって、公園としていいのかなと思います。

それからトイレを設置したら誰が管理するのかという話が当然出てきます。境南ふれあい広場をみていると、かなりの高頻度で掃除しています。そういう設置した後の負担をどうするのかということも考えていかないといけない。市でこうした後年度負担をできるのか少し不安に感じています。

B委員 電源にはやはりソーラーパネルのようなものをつけるのでしょうか。園内の街灯は当然LEDになるとと思いますが、この時代ですから、少しエコロジカルな部分というのも盛り込むべきだと思います。

区画整理課長 できる限りそういったものになるように設計段階で具体的に考えていきたいです。

B委員 この時代ですから、そういうエコロジカルな設計というのを組み込むべきです。もう少し視野を広げれば、遊具を置く場合に、発電遊具というものがあります。例えばシーソーをやることで発電して、それを電気として利用するのではなくて、今どのぐらい電気ができているのかということモニターとして見せる、そしてその子供たちが遊びながらエコロジカルなことを学べる、という遊具がありますので、この公園でなくても遊具をつけるのであればぜひそういう発電遊具を入れてもよいのかなと思います。

会長 おっしゃる通り、エコロジカル、ゼロエミッションということはこれから市としての政策としても求められていきますし、こういった観点をに入れておいたほうがよいと思います。

F委員 公園のフェンスについてですが、小さい子が公園内で自由に歩けるようにということであると、すぐ近くが大きな道路なので、すぐに出ていくことが難しく、でも景観を壊さないようなものがあるといいと思います。

会長 全面を柵にしてしまうと閉鎖的になってしまうかもしれませんが、一方で子供たちが遊んでいて都市計画道路に出ってしまったら非常に怖い。この辺の配慮をすると同時に、保育園の先生方に交通安全教育もぜひやっていただき、場合によっては警察の方にもご協力いただいて飛び出しは危ないよ、という交通安全を体験できるような公園にするというのもよいかと思っています。

全面をフェンスで囲ってしまうと閉鎖的になって恐ろしさも生まれますし、バリアを作ってしまうということになると、ベビーカーが入れない等

の課題もでてきます。

適切な配置と絶対やらなければいけないことがあると思うので、そこはご配慮いただければと思います。

A委員 先ほどE委員が言われたシンボルツリーについて、樹種は何にするかは別にして、商工会としてはこの公園内で何かいろいろイベント等をやりたいので、なるべく木々は外側のほうに植えてもらおうと嬉しいです。

G委員 街灯については、その周りも含めて明るさも考えられているのでしょうか。

事務局 基本的には照度計算をした上で公園内に設置する予定になっています。詳細は決まっていますが、24時間点灯ではなく、駅前広場のところと同様に、時間帯で点灯するような形になるかと思います。

G委員 ベンチ等があると、夜、人が集まる、という防犯の問題もあるのではないかと思います。

会長 この公園の周りは、人の目が結構あると思いますし、警察もありますが、犯罪等を未然に防ぐという意味では、その照明の位置も大切になってきます。照明は高いところがいいのか、間接的に低いところがいいのか。高いといろんな虫が飛んでくるとか、ご近所の皆様にご迷惑かけるとか、といったことも考える必要があります。よくあるのが、少しお金がかかりそうですが、間接的に下の方に照明をつけて、要は歩くところが明るければいいのではないかという考えもあります。こういった配慮もしていただければなと思います。

整備内容ということでは、駅前公園の樹種のほうが、議論がありそうなので、梶野通りの樹種から先に方向性を決められればと思っています。

一応、市からは検討材料ということで、ケヤキ、ヤマザクラ、シラカシということでしたが、市が健康寿命や長寿というコンセプトを考えてくださり、先ほどD委員からご指摘いただいた根上がりも防ぎたいという、要は持続可能な都市ということを踏まえますと、シラカシを軸に検討するということは、いかがでしょうか。

B委員 この3つの中からの選択となると本当に難しいですね。確かに、根上がりが無い、一度に落ち葉が生じない等の面ではシラカシが優位であるのと、また、昨今、街路樹が倒れて死亡事故が起きることが問題になっています。植えてすぐ発生するわけではないですが、やはり何十年後に枯れ枝の危険性が生じるということを考えると、サクラも結構枯れ枝がでますね。それからもちろんケヤキはもう論外ですが、そういういろんな総合的、複合的なことを考えますと、サクラとシラカシという場合は、シラカシのほうが安全なのかなと思います。

ただ、やはり地元のアイデンティティ等を考えていくと、なぜシラカシにしたのか、と思う市民がとても多いと思います。シラカシにした理由が健康寿命や長寿だとやはり説得力がないと思います。

会長 もしシラカシを選ぶとしても、B委員がおっしゃったように選定理由をしっかりと説明できるようにしておくということと、今後の駅前公園やこの区画整理事業地区が、ある程度の収束という話になってきたときに、検証する仕組みを考えていただきたい。

長野県飯田市に飯田りんご並木というのがありますが、あれは大火の後、

復興道路を作り、そこにリンゴを植えたものです。飯田市とリンゴは合わないですが、やはり大火があったことを後世に伝えるということで、そういったものを選んだということのようです。そういった意味でB委員がおっしゃったように、ここでシラカシを選んだとして、後世、10年後、20年後、100年後に、恥じないようにちゃんと伝えていく必要があります。駅前公園も同じですが、何でこうしたのかということ伝えていかなければならないと思います。ただ単に維持管理の面から選定したというのでは、つまらないと思います。

E委員 シラカシは常緑樹ですね。梶野通りは南北道路で日差しが強く、工事中に歩いていて、暑さで往生したことがあります。日陰を常に維持できますというのもコンセプトの一つだと思います。それから道路にもベンチを置くというので、年中ベンチで木陰が利用できるという憩いの場の提供というのも、市民の方への説明で使えるかなと思います。街路樹は根上がりもですが、枝葉が電線に引っかかるということも必ず問題になります。ただ、ここは電線類地中化なのでその心配も無用ですので、少し枝葉が茂っても木陰を利用できるということが市民に伝えやすいコンセプトだと思います。ちなみに、並木というのは両方が同じ木でないと駄目なんでしょうか。片方に花の咲く木を植えて、片方に常緑樹ということはあるのでしょうか。

B委員 一般的には同じ樹種を植えます。一本おきに違う樹種というのは見ますが、両側がばらばらだと景観上あまりよくないかもしれません。

D委員 一本おきに違う樹種を植えるのは何か意味があるのですか。

B委員 よくあるのは、ハナミズキ等の赤と白を交互に植えるというようなことはいろんなところでやっていますが、それも同じような樹種の中で品種を変える感じになります。

大切なのは、今、E委員がおっしゃった緑陰を作るということをみんなで共有できるかどうかです。商売されている方等から、うちの看板の邪魔だから切ってほしいというのが出てきます。また、シラカシも実は6月にとっても落ち葉が落ちます。そのときに、これは緑陰を維持するために必要ですということをしっかり説明できるかどうか。そういうときに、どう説得していくかというのが課題だと思います。

E委員 ベンチは梶野通りを通る人が休憩するのもありますが、お店の日陰にも使えるわけですから。

B委員 いろんな考え方がありますが、今までのいろんなところの街路樹を見ると、うちの前が陰になるとか邪魔だと思う市民もたくさんいます。だからそのところの意識改革をどうやっていくのかということが非常に大切です。前回も申し上げましたが、自分たちの木とか、自分たちの緑陰ということ、その植栽と同時に植え付ける、市民にも植え付けるという作業が必要です。

会長 仮にシラカシにするとしても、どのように自分たちの自慢の街路樹にするのかというようなことを最初から考えていただきたいです。例えば売買等で新しい居住者がきて「邪魔だから切ろうぜ。」となっても、「待ってくれ。俺たちはこういう思いで植えたんだ。」と言えるようならば、シラカシでもいいと思います。そのため、シラカシにするとしても、この地域の自

慢の街路樹にするために、どんな取り組みをすべきなのかということ踏まえて考えて欲しいと思います。みんなで植樹する会をやってもいいと思います。

B委員 それと、例えばコンポストを公園の中に作って、そのシラカシの落ち葉をそこに入れて、またそのシラカシに戻す、という流れを通して、自分たちが育てている意識を育むことが大切です。

会長 あと、E委員がおっしゃったように、ここでどう緑陰で楽しむのかということも考えた上で、地域のアイデンティティになるように、地域の自慢となるように、私たちはこのようにしたんです、というようなことを、事務局には作文していただき、それを踏まえてまちづくり協議会としてこの樹木に決めた、ということにしたいと思います。そして我々はこういう思いを木に込めました、ということパンフレット等に記載したり、街路樹にそういった看板を設置することもよいかと思います。

B委員 武蔵小金井駅南口に大きなケヤキがありますが、あの木は、小金井公園にあって伐採予定だった木をみんなでお金を出し合って移植したものです。そこには大きな看板があって、この木を守ったという説明書きがあります。ですので、この街路樹においても、実はこういう目的でシラカシにしましたということがわかる看板等があるとわかりやすいと思います。

会長 これから区画整理事業も収束に向かっていくので、地元はこのまちづくりを伝えていかなければいけないと思います。このシラカシに込める我々の思いを汲んでいただいて、シラカシにしました、というストーリーを作っていたいただきたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

<異議なし>

会長 そのため、方向性としてはシラカシなのですが、事務局へは「長寿」ということからではなく、我々のこの街路樹に対する思いを作文していただいて、それを次回の委員会で示していただきたいと思います。そこで必要であれば加筆等しながら、これに選んだということきちんとして後世に伝えられるようにしたいと思います。

続いて公園のあり方についてです。公園につきましても、電源は必要と思います。また、災害時を想定してソーラーパネル等も設置したほうがいいと思います。あと水道とか散水等もよいかと思います。それ以外はミスト、柵、花壇等も検討が必要です。

B委員 花壇を作るだけではなく、花壇を管理していくボランティアも一緒に立ち上げなければいけないと思います。梶野公園にもボランティアはいますし、市内いろんなところに花壇ボランティアがありますので、ここでも立ち上げてほしいと思います。そして花壇と一緒に、街路樹、シラカシの落ち葉掃除等も含めたボランティアを募っていく必要があります。いずれにしても花壇を作るだけではよくありません。

会長 今までは花壇を作って、あとは地元で、という話でしたが、今はそういう時代ではないので、管理を前提としたボランティアを立ち上げる必要があると思います。また、シラカシの落ち葉を焼却炉で燃やすのではなく、コンポスト等できちんと堆肥して、ゼロエミッションを実践できるような仕組みにして欲しいということかなと思います。それと噴水はありえないと思います。

あとご議論があった常設のトイレを作るかどうかです。イベント時には仮設のトイレを持ち込むということになるかと思いますが、C委員がおっしゃったように、トイレがないということは当然デメリットになりますので、作らない場合には周辺のトイレ案内を出すということは必要だろうと思います。ちなみに駅前交通広場にトイレというのは無理なのでしょうか。

区画整理課長 駅前交通広場は整備も完了しているため、インフラ等も含め今からだと難しいです。

C委員 それとごみ箱を設置して欲しいです。

B委員 ごみ箱があると家庭ごみ等、様々な物を入れられてしまうため、ごみ箱はあえて置かない方がいいと思います。

C委員 日本はサリン事件以降、どこもごみ箱がなくなり、持ち帰ることが前提になっています。海外に行くとき必ず大きなごみ箱がありますが、それは、ごみは捨てるものだという考え方があるのだと思います。ごみ箱を誰がどのように管理するのかということも検討しないといけないと思いますが。

会長 私もごみ箱はない方がいいと思っています。武蔵小杉でこのぐらいの公園を作ったところ、周りのコンビニ等でビールを買って、酒盛りして騒ぎ、それを山のように捨てて帰ってしまうという大問題が起きています。そうすると、何か捨てられる場所があると、自動的に捨ててしまうというのがあるかもしれません。もちろん見解の相違で、ある方がいいという考え方もあるとは思いますが、少し難しいかもしれません。もちろん、イベント等の際は専用のごみ箱を設置するのが原則ですが、平時はお持ち帰りいただくことが原則かと思っています。

区画整理課長 大分方向性を示していただいているので、細部は設計の段階で検討するというだけでもよろしいかと思っています。

会長 区画整理で皆さんからご協力いただいたという証を記念碑等に込めて置く方がミストより良いと思います。次の世代のために苦労しながら皆さんにご協力いただいてやっとできた、だからこの先、50年後も100年後ものこの町を愛してくださいという思いをシラカシに込め、駅前にコガネイウスベニザクラを植えたという思いを石碑か何かに残した方がいいと思います。そして換地処分の時や式典の時にみんなオープンカットするという方がミストよりはいいかなと思います。これは私案ですが。

あとはトイレです。今日はこのご議論もありましたので、ここに作る場合にはどのぐらいの面積を占有してしまうといったことや、逆に作らない場合にはこういったところで役割分担ができるのではないかということ等をお示しいただいて判断した方がよいかと思います。

トイレは今の時代ですので、男子トイレと女子トイレ、あと真ん中にバリアフリートイレを作るとなると、約1,400㎡の公園にしては結構な面積を占める可能性がありますので、最低でもトイレの面積をご確認いただきたいと思います。一方で、トイレがなかった場合、どういった代替手段が、どれぐらいの距離にあるのかということをお示しいただいた上で判断すべきかと思いますが、いかがでしょうか。

E委員 遊歩道にはあと何百mで何がある等の案内が書いてあります。あと何百m、あと何十mでトイレがありますと書いてあると、安心して歩くことが

できます。近隣で利用できる場所があるならば、その方向と距離を書いておくというのも1つの方法かと思います。それとトイレがあることはありがたい話ですが、維持管理が大変だと思います。

会長 平時のことに加えて災害時はどうするのかという話も当然出てきます。ここは災害時の避難場所になるほどの面積はありませんが、マンホールトイレぐらいは有しておいた方がいいのではないかと、ということも含めていろいろな角度からご検討いただきたいと思います。そして、次回、提示していただき、その上でここに配置するという案もあるかもしれないし、もしくはそうではなく、違うところと役割分担で対応したいということになるかもしれない。そういう方向で進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

<異議なし>

会長 それと公園の名称の決め方についてです。公募で決定するか、協議会で決定するか、公募して協議会で決定するという方法もよいかと思います。公募でいろいろ案を出していただいて、その中から協議会で決めた方が市民の皆様に対しても我々が内緒で決めたわけではなく、広く公募した結果と言えますので。広く公募した結果、一番多いものではなくて協議会の中で3番が選ばれるかもしれませんが、それはそれでありだということをしつかり書いておけばいいと思います。一方で前回あったネーミングライツというのは、公園名を決めた後、先々にはあるかもしれませんが、まずは、公募して協議会で決定するというものでいいかと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

会長 いずれにしても、この地域の地権者の皆様、この区画整理に関わってくださった皆様に、広く応募していただいた方がよろしいかと思います。そして、そういったことをやりながら換地処分を迎え、次の人たちに伝えていくというプロセスが重要だと思います。

E委員 大きなイベント等では市内の小中学校に協力をお願いするという方法もあります。

B委員 市報で周知すればよろしいかなと思います。

会長 いつ公園名をお披露目するかも悩ましいところです。市にも事業の収束を踏まえて、事業が終了した後、どう発展させていくのかという視点でも考えていただければと思います。今までは「まちづくり」だったかもしれませんが、これからは「まち育て」のフェーズに変わってきたと思います。

それと、公園の樹種がサクラで良いかどうかについても確認したいです。

B委員 公園自体も大きいわけではないので、公園の樹種は交通広場との一体感が必要だと思います。街路樹はシラカシの方向になりましたが、これも本当はサクラの方が、説得力があると思います。小金井公園と言うだけで、なるほどサクラね、になり、理由付けも要らないと思います。街路樹はシラカシでほぼ決まりですので、公園はコガネイウスベニザクラを主体に入れて、交通広場と一体化するような空間として考えた方がいいと思います。そのときにいろんな種類のサクラを入れるのではなく、やはり小金井公園で見つかった固有種を入れることによって説得力があがると思います。

さきほどE委員がおっしゃったシンボリックな大きなシダレザクラ等の

ほうが駅の方から見たときに映えるという見方もあると思います。しかし、それは、駅の方から、正面から、見たときに綺麗な背景になるという見方であり、この公園というのは四方から見える公園ですので、どこから見ても良い感じの空間になるというのを考えますと、同じ種のほうが俯瞰して見たときに一体感があって、小金井のサクラをインスピレーションしやすい空間になるのではないかと思います。

それとA委員がおっしゃったように、やはり何かイベントをする際は、あまり大きなシンボリックな木があると使い勝手が悪くなるため、フレキシブルにするならば、樹木は少し端のほうに寄ってもらって空間を広く確保し、フレキシブルにいろんなものに応用できるような、植栽、木の位置、配置というものを考えるべきかと思います。

会長 本日、多数のご議論をいただきありがとうございます。本日のまとめです。街路樹についてはシラカシということですが、このシラカシにした理由というのが、長寿からではなく、例えば、緑陰のためとか、落ち葉を使ってゼロエミッションをしていくとか、街路樹を踏まえた展開をしていくから選んだ、ということをきちんとコンセプトに入れ、そのコンセプトを次回、議論していくこととします。

また、公園の樹種については、このとおりでよろしいでしょうか。

<異議なし>

会長 皆様方、多数のご意見ありがとうございます。次に、その他でございますが、事務局、何かありますでしょうか。

事務局 本日、公園及び梶野通りの整備についてのご議論ありがとうございます。今後、内部調整を行いまして、いただいた宿題の回答と第4次協議会取りまとめ案を作成しまして、第3回協議会を行いたいと考えてございます。現時点では第3回で取りまとめたいと考えておりますが、そこで議論がまとまらない場合には、また別途調整させていただければと思います。第3回の日程は令和8年2月17日火曜日、午後6時半から開始ということよろしいでしょうか。

会長 次回は令和8年2月17日火曜日、午後6時半からということで皆様、よろしいでしょうか。

<異議なし>

会長 それでは、次回は2月17日火曜日ということで、市の方にはいくつか追加の資料作成をお願いしましたので、それを踏まえて最終的な方向性を決めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。本日は長時間、皆様ありがとうございます。以上をもちまして協議会を終了させていただきます。